

バイオバンク
ご協力に関する
よくある質問

バイオバンクについて理解を深めて
いただくために、
よくいただく質問に回答する形式で
説明させていただきます。



東京医科歯科大学 バイオバンクへの ご協力のお願い

Q バイオバンクって？

A 新しい治療法や薬の研究開発のために欠かせない血液・手術時の
切除組織などの生体試料を各種データとともに保存するシステム
です。

Q 協力してみようと思ったらどうすれば
いいですか？

A 東京医科歯科大学の附属病院を受診し、担当医から説明を受け、
ご協力いただける場合は、さらにコーディネーターから詳しい説明
を受けて、『同意書』などの必要書類に署名していただき、担当医
にご提出していただきます。

Q 血液を提供する場合は？

A 約 14ml の血液を採血させていただきます。



Q 切除した組織を
提供する場合は？


A 治療時に切除した病変の組織の一部を保存させていただきます。
(診断・治療に必要な組織は本システムとは別に保管します。)

Q 各種データを
提供する場合は？

A 検査などの各種データはバイオバンク担当者が責任を持って
収集・管理いたします。システムに参加していただく皆さんに
改めてお願いすることはありません。

Q 個人情報
守られますか？

A お名前などは個人が特定できないような
形式で符号化（匿名化）されます。



Q メリット、デメリットは？

A 特にデメリット（不利益）はないと考えられます。直接的なメリッ
ト（利益）はないかもしれませんが、あなたと同じ病気の患者さん
に対する治療法の開発などに貢献でき、社会全体の利益につな
がる可能性があります。

Q 費用は？

A 一切かかりません。

Q 協力の取りやめは
いつでもできますか？

A 一旦ご協力いただいても、いつでも撤回できます。その場合同意
を撤回して、保管されているものの破棄を求めることが可能です。
ただし、すでに研究者に対して試料が提供されている場合は、そ
の研究者に対して迅速に連絡をして、廃棄していただきます。



医学・医療の発展に欠かせない研究に使用する血液・
手術検体・臨床情報などのご提供をお願いします



バイオバンクの意義・目的について

田中雄二郎 東京医科歯科大学学長

私たちの大学は、「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」というミッションを掲げており、先端的な医学研究を推進して、成果を国民の皆様にお届けする使命を帯びています。その取り組みの一つとして疾患バイオリソースセンターを設置し、バイオバンク事業を行っています。本事業は、皆様のご協力を得て、血液、組織、各種の臨床データなどを、個人情報保護と倫理的配慮の下に収集・保管することを目的としており、これらの試料や情報は、病気の治療法や薬の開発のために活用されます。新型コロナウイルス感染拡大を迎え、治療法や薬の開発の重要性が痛感されるこの頃です。より良い医療の実現と発展のために多くの皆様方に本事業へのご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



疾患バイオリソースセンターの取り組み

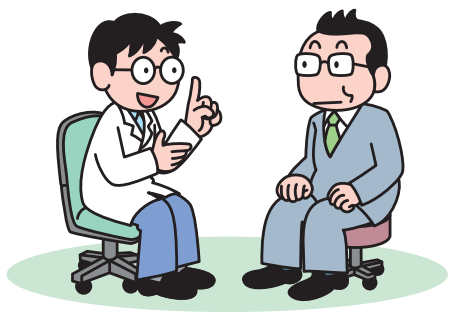
田中敏博 疾患バイオリソースセンター長

十人十色という言葉があるように、人には個人差があります。医療においては、かかりやすい病気や適切な治療法などは、人によりそれぞれ異なります。私たちのセンターでは、皆さまからの生体試料や臨床情報を医歯学研究者に提供し、一人ひとりに適した予防法や治療法、あるいは新しい薬を開発するために活用いただいています。未来の医療のために、どうぞご協力をよろしくお願いたします。

バイオバンクとは 疾患バイオリソースセンターでは、病気の原因の解明や新しい治療法や予防法のための研究を進めるために必要な血液、組織、各種データなどを、個人情報保護と倫理的な配慮のもとに収集・保管しています。皆様のご協力によって成り立つものです。

協力の流れ… バイオバンクの研究活動にご賛同いただき、ご協力いただいた場合の流れについてご説明します。

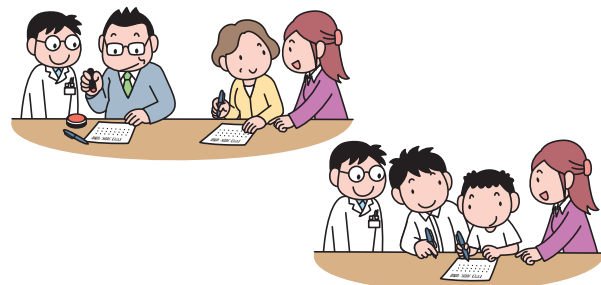
1 担当医から説明を受けます



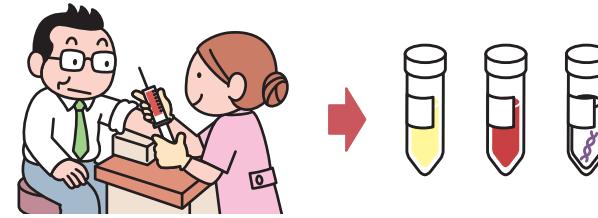
2 必要であれば、コーディネーターから詳しい説明を受けることもできます



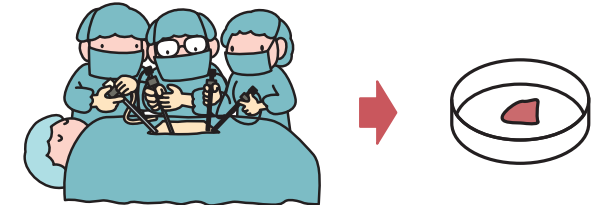
3 同意の意思が固まったら、書類にサインか捺印をしていただきます



4 血液を提供する場合…約14mlを採血します



5 切除組織を提供する場合…手術などで切除した病変組織の一部を保存します



6 検査結果などの各種データは個人情報を切り離し、あなたと特定できないようにして保管されます



7 バイオリソースは病気の治療法や薬の開発に活用されます



8 ご協力によって病気に苦しむたくさんの患者さんを助け、広く社会に役立つ可能性があります

